

2023 年度(令和5年度)学校評価自己評価表

誠之中学校区	校番21	福山市立箕島小学校
最終更新日		2023年(令和5年)4月14日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で各学校とも様々な工夫をして教育を進めている。 ・自己肯定感や自己効力感を伸ばしてほしい。 ・IT化が進んでいくので、トラブル対策も含めて、子どもの主体的な学びが進むよう取り組んでほしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域から学び、理解し、つながろうとしている子どもが増えている。 ・相手意識を持った行動が不十分。 ・目的を明確に持ち主体的に学ぶまでには至っていない。 ・長欠児童生徒の割合が高い。 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>主体性</p> <table border="1"> <tr> <td>知識・技能</td> <td>思考力・判断力</td> <td>表現力</td> <td>自立・共生</td> </tr> </table> <p>自らに誇りを持ち、夢と目標に向かって頑張る児童生徒</p> <p>研究主題：自ら考え学ぶ教育活動の創造 校区共通のSDGs：11 住み続けられるまちづくり</p>	知識・技能	思考力・判断力	表現力	自立・共生
知識・技能	思考力・判断力	表現力	自立・共生				

III 自校

<p>ミッション</p> <p>チーム「み」「の」「し」「ま」 Smile & Challenge ～「み」んなが育つ 「の」びのび学ぶ 「信」頼しあう 「ま」なざしの共有～ 相手を思い 協働して解決に挑む</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p>	<p>主体性</p> <table border="1"> <tr> <td>知識・技能</td> <td>思考力・判断力</td> <td>表現力</td> <td>自立・共生</td> </tr> </table>	知識・技能	思考力・判断力	表現力	自立・共生											
知識・技能	思考力・判断力	表現力	自立・共生														
<p>学校教育目標</p> <p>自ら伸びる子どもの育成</p>	<p>めざす子ども像</p> <table border="1"> <tr> <td>低学年</td> <td>○知りたい情報を人に聞く・本で調べるなどして収集することができる。</td> <td>○自ら課題を見つけ、事象を比較すること等を通して、課題を解決することができる。</td> <td>○自分の考えや意見を、わかりやすく伝えることができる。</td> <td>○自分の考えを持つことができる。 ○進んで集団生活を行い、地域に愛着を持つことができる。</td> </tr> <tr> <td>中学年</td> <td>○目的に応じて情報を工夫して収集し、情報を選んで、活用することができる。</td> <td>○自ら課題を見つけ、事象を比較・分類すること等を通して、課題を解決することができる。</td> <td>○自分の考えや意見を、三角ロジックを活用してわかりやすく伝えることができる。</td> <td>○自分の考えを持ち、相手の気持ちを考えながら自己を表現することができる。 ○進んで集団生活を行い、地域に愛着を持つことができる。</td> </tr> <tr> <td>高学年</td> <td>○多様な視点から情報を収集し、情報を選んで、経験・知識と結びつけて活用することができる。</td> <td>○自ら課題を見つけ、事象を比較・関係付け・分類すること等を通して、協働して課題を解決することができる。</td> <td>○相手や目的に応じて自分の考えや意見を、三角ロジックを活用して説得することができるように伝えることができる。</td> <td>○自分の考えを持ち、相手の気持ちを考えながら自己を表現し、互いの存在や立場を尊重しようとしている。 ○進んで集団生活を行い、地域に愛着を持つことができる。</td> </tr> </table>	低学年	○知りたい情報を人に聞く・本で調べるなどして収集することができる。	○自ら課題を見つけ、事象を比較すること等を通して、課題を解決することができる。	○自分の考えや意見を、わかりやすく伝えることができる。	○自分の考えを持つことができる。 ○進んで集団生活を行い、地域に愛着を持つことができる。	中学年	○目的に応じて情報を工夫して収集し、情報を選んで、活用することができる。	○自ら課題を見つけ、事象を比較・分類すること等を通して、課題を解決することができる。	○自分の考えや意見を、三角ロジックを活用してわかりやすく伝えることができる。	○自分の考えを持ち、相手の気持ちを考えながら自己を表現することができる。 ○進んで集団生活を行い、地域に愛着を持つことができる。	高学年	○多様な視点から情報を収集し、情報を選んで、経験・知識と結びつけて活用することができる。	○自ら課題を見つけ、事象を比較・関係付け・分類すること等を通して、協働して課題を解決することができる。	○相手や目的に応じて自分の考えや意見を、三角ロジックを活用して説得することができるように伝えることができる。	○自分の考えを持ち、相手の気持ちを考えながら自己を表現し、互いの存在や立場を尊重しようとしている。 ○進んで集団生活を行い、地域に愛着を持つことができる。	<p>現 状</p> <p><児童生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習において、「選択すること」「対話しながら学ぶこと」「追究すること」の意識が高い。 ・児童が学年をこえ交流できる仲の良さがある。上級生が中心となり、活動を工夫したり、下級生をリードしたりしている。 ・地域の方の協力を得ながら、調べ学習、学校行事、児童会活動を行っている。地域行事にも積極的に参加し、関わりを深めている。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲が継続する授業を目指して、教材研究や授業構想を中心に授業改善を進めてきた。 ・自分の考えを豊かに表現したり、友達の考えのよさを受け止めたりすることで、児童一人一人の学びが深まるよう、授業改善を進めている。
低学年	○知りたい情報を人に聞く・本で調べるなどして収集することができる。	○自ら課題を見つけ、事象を比較すること等を通して、課題を解決することができる。	○自分の考えや意見を、わかりやすく伝えることができる。	○自分の考えを持つことができる。 ○進んで集団生活を行い、地域に愛着を持つことができる。													
中学年	○目的に応じて情報を工夫して収集し、情報を選んで、活用することができる。	○自ら課題を見つけ、事象を比較・分類すること等を通して、課題を解決することができる。	○自分の考えや意見を、三角ロジックを活用してわかりやすく伝えることができる。	○自分の考えを持ち、相手の気持ちを考えながら自己を表現することができる。 ○進んで集団生活を行い、地域に愛着を持つことができる。													
高学年	○多様な視点から情報を収集し、情報を選んで、経験・知識と結びつけて活用することができる。	○自ら課題を見つけ、事象を比較・関係付け・分類すること等を通して、協働して課題を解決することができる。	○相手や目的に応じて自分の考えや意見を、三角ロジックを活用して説得することができるように伝えることができる。	○自分の考えを持ち、相手の気持ちを考えながら自己を表現し、互いの存在や立場を尊重しようとしている。 ○進んで集団生活を行い、地域に愛着を持つことができる。													
	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p>	<p>意欲的に学び続ける授業の創造</p> <p>～自分の考えを適切に「表現する」、友達の考えを「受けとめる」子どもの育成をめざして～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科、算数科、社会科の単元における考えを共有する場で、自分の考えを伝えるために「表現したい」、友達がどうしてそう考えたのか「聴きたい」「受けとめたい」という思いが生まれるような授業づくり 															
	<p>めざす授業の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりが、自分の考えたことを伝えるために「表現したい」、友だちがどうしてそう考えたのか「聴きたい」という思いが生まれる授業 ・子どもが意欲的に学びに向かい、探究的な学びが生まれる授業 ・子どもが学び合い、学ぶことを楽しんでいる授業 ・子どもが友達の考えを聞いて、自分の考えを深めたり広げたりすることができると感じる授業 															

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立箕島小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	70% 評価	達成 評価	総合 評価
3	学び続ける 授業の創造	★	見 直 し	意欲的に学び続 ける児童を育成 する。 【主体性】	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもの論理」に働きかける授業づくりを行うための研修を行う。 子どもの意欲的な学びの姿を定期的に交流する。(学期に1回以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ①学ぶことが面白いと感じている児童、②次の課題が見つかると感じている児童、③友達の考えを聞いて、自分の考えを深めたり広げたりすることができたと感じる児童を75%以上に する。 (児童アンケート) 「子どもの論理」を「引き出す」「見つける」「つなげる」という視点での授業づくりができたと感じる教職員を80%以上に する。 (教職員アンケート) 「学んだ内容を自身の授業改善に生かしている」とする教職員を80%以上に する。 (教職員アンケート) 								
7	豊かな社会性 の育成	★	見 直 し	自己を見つめ、他 者と積極的にか かわり、よりよい 人間関係をつく る。 【自立・共生】	<ul style="list-style-type: none"> 児童が自分や友だちの良いところを見つけて、表現することができるような取組を行う。 児童が6年生を中心に、異学年で協力してそうじをすることができるような取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友だちの良いところを見つ けることができた児童を85%以上にする。 自分や友だちの良いところを表現 することができた児童を75%以上にする。 異学年で協力して そうじをすること の良さを実感でき た児童を80%以上 にする。 								

9	体力の向上	見直し	自ら進んで楽しく運動に取り組む児童を育成する。 【知識・技能】	<ul style="list-style-type: none"> 児童が楽しみながらできる体力向上のための運動を継続して行う。 新体力テストに向けた取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「運動が好き」、「運動が楽しい」という児童を85%以上にする。 新体力テストの県平均値かつ全国平均値以上の項目を55%以上にする。 									
4	職員の働き方改革 ○全ての職員が働きやすい職場を実現する。	見直し	授業づくりのための時間(授業交流、教材研究)の確保	<ul style="list-style-type: none"> 時間外在校時間の適正管理 計画的な休暇の取得を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 週あたり7.5時間を確保する。 1ヶ月の時間外勤務40時間以内の職員が100% 									

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]	
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度 十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度 概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度 ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度 あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度 目標を達成できなかった。